

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.2
August 2015



与野公園ばらまつり (写真提供：さいたま観光国際協会)



国際ロータリー 第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116

エイペックスタワー東館1階

TEL: 048-827-0022 FAX: 048-827-0011

E-mail: ri2770@ri2770.com URL: <http://www.ri2770.com/>



会員増強月間に因んで



2015 - 2016 年度 国際ロータリー第 2770 地区ガバナー 井原 實 (さいたま新都心 R C)

会員増強は国際ロータリー（以後 RI と略記）の目標です。RI の会員数は 122 万人です（2014 年 10 月現在）。RI としては会員数を 130 万人にすることを目標にしています。当地区では、中期的には会員数を 3,000 人にすることを目標にし、今年度は 2016 年 6 月末の会員数 2,770 人を目標にしています。

会員増強は、良き職業人の増強をして下さい。即ち「奉仕の理念」を実現することに共鳴・賛同してくれる仲間を増やさなければなりません。会員数が増える事で同志が増え、理想としている社会に近づくことができます。

会員増強活動のポイントをいくつか挙げてみます。

1. 8 月だけが会員増強月間でなく毎月、毎日が増強する日々と考えて下さい
2. 入会候補者には、まず声を掛けましょう。多分駄目だろうという先入観念を捨てて下さい
3. 入会候補者に易しい言葉でロータリーを説明し、理解を得て下さい
4. 若い会員、女性会員の増強を積極的に行ってください
5. クラブの活動が広報された場合には、紹介記事などを使って説明して下さい
6. 新会員への情報提供、教育、育成が大切です。丁寧に伝えて下さい

増強と同時に退会の防止にも努めて下さい。入会間もない人、お年を取った方の退会が増えています。当地区では毎年 200 人程度の退会があります。退会者の中には属に交代会員と呼ばれる方がいらっしゃいます。大企業の支社・支店に勤務されていて、地元との繋がりを求めて入会なさっている方々です。交代会員を除いた退会者が真の退

会者になります。

退会の理由は、

- ①（例会が、クラブが）面白くないから
- ②お年を召して例会場に来るのが億劫だからが挙げられます。

面白くない主な理由はロータリーを理解していないためです。クラブのロータリー情報委員会の炉辺会議、地区の RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）の研修などを通じて、知り合いを広め、ロータリー活動の理解を深めるようにして下さい。お年寄りの出席免除の会員の方には、例会の食費を都度徴収し、会費を下げるなどの仕組みづくりが必要だと思います。

今年度の地区活動方針は、ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分づくりです。仲間を増やし、奉仕を通じて、自分づくりをして、一緒に、ロータリーを学んで、楽しむ仲間を増やしましょう。





国際ロータリーの理事を終えて



2013-15 年度 R I 理事 北 清治（浦和東）

国際ロータリーの理事を終え、皆様にご報告とお礼を述べさせて頂く機会を与えて頂きましたことに深く感謝申し上げます。

理事会の度に少なくとも 50 件前後の案件、300 ページ前後に及び資料には浅学菲才なる者として苦勞を強いられました。

理事会は奇数と偶数の各ゾーンから交互に二年任期で 8 名又は 9 名が選出されます、会長、会長エレクトを加え 19 名で構成しています。議決権はありませんが事務総長が加わり 20 名で理事会が運営されています。議事進行の中で議論が伯仲し表決になった際、一票の責任の重さは図り知れないものがあることを感じました。

国際ロータリーは、理事会の指示監督の下で、事務総長に R I の最高執行責任者として R I の日々の管理を負うものとされており。R I の財務運営を含め、方針の実施、運営、管理について会長と理事会に責任を負うものとされています。また、R I 事務職員の監督に単独で責任を負うものとされています。

R I の本部はご承知のようにエバンストにあります。職員が全体で 774 名、本部にいる職員が 526 名。インドのプネに事務効率化のために事務局を設けており職員が 140 名おります。世界の 8 つの事務局（日本含む）に 108 名の職員が働いております。

R I の最高執行責任者であるジョン・ヒューコ事務総長はロータリーが掲げた戦略計画の具現化に取り組んできました。My Rotary、ロータリークラブセントラルなど普及推進に時間を必要としておりますが、定着した暁にはロータリーの方向性と組織運営の効率化に素晴らしい成果が期待されるものと思っております。

R I 事務局は、国際ロータリーとロータリー財団の事務局戦略計画を立案し、事務局の使命とビジョンを定めております。紙面の都合で具合的に

記すことは出来ませんが、事務局職員は使命とビジョンに対する認識と推進を図りロータリーの発展に貢献しております。

2020 年 10 月 20 日、東京ロータリークラブが設立されてから 100 周年を迎えます、日本のロータリー 100 周年でもあります。去る 7 月 1 日「日本のロータリー 100 周年委員会」がスタートしました。不肖私が準備委員長の任命を受けました。日本のロータリー新世紀に向けてビジョンの策定など皆さんのご意見を十分に反映するような手順を踏みながら準備を進めて行く所存でおります。

以上報告とさせていただきます、皆さんのご厚情に深く感謝申し上げます。



ガバナーナイト 開催さる

文責：幹事 木村 亮



北清治 RI 理事・濱野ガバナーご苦労様、そして井原ガバナーエレクト激励を冠に、去る 6 月 25 日ガバナーナイトが浦和ロイヤルパインズホテルで開催されました。

皆様ご承知の通り、ガバナーナイトはここ何年か RI 年次大会開催に合わせて慣習的に大会開催現地でやってまいりました。

今年の RI 国際大会はブラジル サンパウロ。本邦からは最遠地に位置し、安全な場所を選ぶと費用も高額、限られた滞在期間、参加人数などを考慮しまして各員想いは遠く彼方のサンパウロに寄せつつも、ガバナーナイトは浦和で行われた次第です。

当日はガバナーナイトに先立ち、同所で濱野年度の有終の美を飾る最終合同会議が行われました。ガバナーナイトには地区内より 200 人の有志が集い楽しい宴でありました。ホテル側のご厚意でブラジルを感じさせる料理が三種類用意されてありましたが、スピーチに続いての乾杯、そして会食が始まった瞬間的に参加者の胃袋へと消えました。

余興としてプログラムに無い、謎の楽団その名も「アキラとラ・フランス」によるハーモニカ演奏が取り止めなくこの座を盛り上げ、その解説、説明に司会を苦しめたことを最後に記します。



北 清治 RI 理事ご苦労様でした。



ガバナーが引き継がれました。



謎の楽団「アキラとラ・フランス」



サンパウロに行かれた皆様

大宮シティロータリークラブ

会長 佐々木 修

幹事 佐藤 隆行

7月8日（水）、井原實ガバナー、井上久雄第3グループガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催しました。会長、幹事、会長エレクトとの懇談会において、井原ガバナーよりロータリーに対する熱い気持ちが伝わりました。

クラブ協議会においては、各委員長より事業計画及び目標を報告し、その後、井原ガバナーより

懇切丁寧な講評とご指導を頂きました。また、例会ではRI・地区、方針等を30分間の卓話でプロジェクターを使い分かりやすく解説頂きました。当クラブは2年後に20周年を迎えるにあたり「会員が活力を育める」よう努力して参ります。懇談会から例会、懇親会に至るまで長時間ご指導ありがとうございました。



ガバナーのバッジが交換されました。



地区幹事のバッジが交換されました。



戸田西ロータリークラブ

会長 小山 重治
幹事 平出 勝

新年度に移り、7月9日(木)に井原 實ガバナーの公式訪問がありました。昨年に続けて第二週目の訪問でしたが、準備の方がなかなか整わなく慌ただしい中で当日を迎えることとなりました。ガバナー自身も公式訪問の二番目のクラブではありますが、当クラブには地区役員としてガバナーとは面識のある会員も数名おりガバナーにとっても落ち着いた訪問が出来た旨の感想を頂きました。又、クラブ協議会でもクラ

ブに対する評価を頂きましたが、やはり会員の増強は私たちの最大の課題としてご指摘も頂きました。

何としても目標である純増三名を果たしたいと思っています。

まだまだ公式訪問は始まったばかりです、お体に気を付けて地区内クラブへのご指導をお願いしたいと思っています。



戸田イブニングロータリークラブ

会長 柴田 勇
幹事 木村 武夫

7月9日、ガバナー公式訪問がありました。当クラブは、通常、イブニング例会なので、公式訪問も夜間例会となります。17時から井原ガバナー、奥墨ガバナー補佐及び土屋ガバナー補佐幹事と当クラブの会長、幹事及び会長エレクトとの事前懇談があり、その後、18時から第1部、公式訪問例会が始まりました。会長挨拶、幹事報告、各委員会報告が行われ、ガバナーの挨拶と卓話が行われました。井原ガバナーが熱い思いを込めて私たちに語られた心に残る一言、それは、『木を植えれば何年か後に花が咲き実がなる。人を育てたら何十年か後にその成果が表れる。だから、ロータリーは「人づくり」をする。そして、それは、結局、自分のためでもあり、「自分づくり」である。』というものでした。第2

部は、懇親会であり、ささやかな宴を設けさせて頂きました。楽しく、そして、有意義なガバナー公式訪問でした。井原ガバナー、そして、奥墨ガバナー補佐並びに土屋補佐幹事、どうもありがとうございました。



浦和北ロータリークラブ

会長 松島 勲
幹事 井川 潤

2015 年 7 月 21 日

ガバナー公式訪問

日時 2015 年 7 月 15 日 (水曜日)

場所 浦和ロイヤルパインズホテル

●クラブの近況報告

・会員数 74 名 (昨年より 2 名純増)

・青少年交換学生

13-14 派遣 1 名 受け入れ 3 名

14-15 派遣 1 名 受け入れ無

・RYLA 研修生 1 名派遣

・財団寄付 年次寄付 \$14,576.29
ポリオプラス \$142.86
メット \$312.25

・米山 普通寄付 370,000 円
特別寄付 1,310,000 円

ガバナーよりアドバイス

・定例寄付の見直しをすること

・社会奉仕の新規企画の検討

・国際奉仕のグローバル補助金利用に向けて活動してほしい

●地区・グループへの要望

・地区大会にロータリアン以外が参加することの
できるイベントを検討願いたい

・青少年交換について

ホスト F バンクの設置を依頼。(埼玉新聞の記事でどれだけオファーがあったかチェックしますとのこと) 今後、委員会と連携して検討しますとのこと。

・IM についても地区大会同様の運営を検討願いたい。

昨年の市長挨拶時の閑散としたのは、できれば避けたい。(今年度は、皆が楽しめる企画を検討の由：田中 G 補佐)

・〇〇月間に合わせて地区委員より卓話も大切であるが、勉強会等に参加いただき説明をお願いしたい。

ガバナーより来年度の地区大会は、期待してほしいとのコメントいただく。

G 補佐より IM についても全員参加の楽しい企画をいたしますとの回答をいただく。

●卓話

・ガバナーより MY ROTARY への登録を強く求められる。(推進委員を設けて対応の由)

・クラブの年度方針通り実行乞う。また、新たな企画も検討して実施してほしい由

●クラブ協議会

・各委員長より年度計画説明するとともにガバナーより其々アドバイス受ける。

井原ガバナー、田中ガバナー補佐ご指導ありがとうございました。





増強月間に際して

会員増強維持部門委員長 木戸 良樹

8月は増強月間です。

増強は難しい…。どのように行動したらいいかわからない…。よく聞く言葉です。

答えは簡単です。

ロータリアンとして相応しいと思う友人・知人に声を掛けるだけでいいのです。

あなたは知り合いに声を掛けていますか？

誰かが入れてくれる…。増強委員会がやればい

い…。

他人任せではダメなのです。

一人が1人に声を掛けたら2,600人をお誘いすることになります。

一人が2人に声をかけたら5,200人をお誘いすることができます。

さあ、勇気を出して声をかけましょう！

「ロータリークラブに入りませんか！」と。

会員増強維持部門セミナー報告

6月26日、川口駅前フレンジアにおいて行われた部門セミナーの報告です。

濱野ガバナー

どんな人を入れたら良いか？それは3つ。

そこそこ評判の良い人。そこそこお金のある人。そこそこ奉仕をする気持ちのある人。

井原ガバナーエレクト

IT産業やデザイン関係、新しい職業分類の方を誘って欲しい。

それにより新しい視点、発想が生まれるはずだから。

田中諮問

とにかく知り合いに声を掛けてみよう！

木戸部門委員長

増強に成功しているクラブの3つの共通点

目標に対するスローガンを掲げている。目標人数を明確に表している。

例会で増強フォーラムを年2回開催している。

この3つに会長の「増強に対するやる気」というスパイスをふりかける必要がある。

後半は会員数の近いクラブの方々を20グループに分けセッションを行いました。

知らない方同士で上手く議論できるかが最大の懸念材料でしたが、各グループとも始まってみると熱気に包まれた話し合いをされていました。さすがロータリアン同士、感心して拝見していました。

皆さんのあの熱気があれば、本年度の増強も間違いなく成功するでしょう！

ご参加いただいた皆さん、月末金曜のお忙しい中、誠にありがとうございました。



2015-16 年度 地区補助金申請一覧

クラブ	活動内容
浦和	2020 年 パラリンピック競技参加者と補助者へ競技関連物品等を寄贈及び支援。
浦和東	東北復興支援のため浦和駅パルコ前広場に復興の PR 供及び販売の補助。
浦和南	園児に電動カート体験。交通ルール、自然エネルギーについて学んでもらう。
浦和中	ネパールの小中学校に雨水を飲料水にするための取水浄水器を設置。
浦和ダイヤモンド	子ども達の健康維持を保つため、「うらわ学園」に大型掃除機を寄贈。
さいたま中央	さいたま市中央区内の中学生、招待生を交えサッカー大会を開催。
浦和西	武蔵浦和駅から別所沼公園までの遊歩道にベンチを設置する
浦和北東	フィリピンの栄養状態の悪い 30 名の子供たちに週 5 日、6 ヶ月にわたり食事の支援
さいたま新都心	フィリピンの失業女性に対して、自立のための職業訓練支援を行う。
大宮	大宮公園で桜の植樹とイベントを行い、市民に公園の歴史を知ってもらう。
大宮南	大宮球場にて、少年野球大会を「大宮南ロータリークラブ杯」として開催
大宮中央	風評被害に苦しむ福島県本宮市の特産物の即売会を実施し PR する。
大宮シティ	カンボジアの住居地に井戸を掘り、衛生的な飲料水、安全な生活を提供する。
さいたま樺	郡山市の子供達とさいたま市の子供たちが国立妙高少年自然の家で共同生活をし、自分たちに出来る事を考え、繋がりを実感し被災地を支えていく。
さいたま大空	ネパールの小学校、高等学校に基本的教育と識字率向上の為、教育資材を寄贈。
大宮西	大宮区周辺の小学生と保護者 2000 名を鉄道博物館に招待し、鉄道の役割を学んでもらう。
岩槻	岩槻文化公園を会場にダンスシンポジウムを開催し、青少年の健全な育成と地域交流とロータリークラブの広報活動をする。
大宮北	さいたま市の知的障害者施設「杉の子学園」に防災用倉庫の寄贈し支援する。
大宮東	ボーイスカウトさいたま第 1 団のスカウトに屋外テント及び野営機材を寄贈。
岩槻東	児童養護施設「いわつき」の子供達 120 名と施設内にてバーベキューと餅つきを行う。
大宮北東	児童養護施設「いわつき」に入所の子供達を、上尾市の榎本牧場に招待し、仕事を学ぶ機会、動物愛護の精神を育む。
上尾	上尾市内の認知症グループホームに、24 時間風呂温水洗浄システムを設置する。
鴻巣	鴻巣市内の中学校参加のバスケットボール大会を開催。バスケットボールを寄贈。
桶川	旧陸軍桶川飛行学校見学者用の利便性向上の為にトイレを改修する。
上尾西	上尾市環境部へゴミ集積所のゴミ捨てルールの看板を製作し寄贈。市民の環境のモラルの意識向上を図る。
北本	北本市の障害者施設の方々の絵・詩・文章などの作品を「障害者の心のアート展」に展示する。
上尾北	上尾市立大石中学校の生徒へ登下校の安全と集団生活の心構えを喚起する為、標語を募集、秀作を選定し校門付近に標語の看板を設置する。
鴻巣水曜	鴻巣市滝馬室荒川隣接地に「鴻巣こうのとりを育む会」の環境整備活動の為に機材及び、保管する物置を寄贈、支援をする。
桶川イブニング	フィリピンの小学校内のトイレの故障、破損部分の改修をする。
春日部	大落古利根川河川広場に屋外電波時計を設置し、市民の屋外活動に支援する。
杉戸	杉戸町内中学校高校の吹奏楽部による演奏会と部活支援金贈呈。
春日部西	ちびっこエイサー教室の児童達の老人ホーム慰問講演活動、交通費の支援、衣装の購入支援をし、青少年育成及び地域社会への貢献をする。
庄和	「道の駅庄和」にて地元の子たちが描いた、交通安全の壁画を設置する。
春日部南	タイの小学校に図書を寄贈することにより、児童の識字率向上に役立てる。
春日部イブニング	春日部特別支援学校の生徒に植物生産等に必要なビニールハウスを寄贈する。
幸手	マリキーナ市の栄養状態が悪い小中学生 100 名に 120 日間の食事を提供する。
蓮田	蓮田市ボーイスカウト活動活性化のために名前入りテントを寄贈する。
久喜菖蒲	福島県相馬市の仮校舎で学習している養護学校の児童に、教育指導に必要な機材を寄贈する。
幸手中央	幸手市を流れる一級河川倉松川の倉松探検隊河川浄化運動への参加。有用微生物群購入などの活動資金の援助。
越谷	フィリピンマニラの高校へ基本的教育と教育効率向上の為、プロジェクターを寄贈。

クラブ	活動内容
越谷南	越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会が主催する「介護フェスタ」において、公募した車いすを介護施設に寄贈する。
越谷北	福島県浪江市の小学生に向けて被災者を支援し映画を上映する。
越谷東	越谷西特別支援学校で地域で就職できるよう教育支援・セミナー開催・保護者との交流及び就業支援をする。
八潮	「八潮ゆま」にて障害児と高校生ボランティア、ロータリアンとの交流。
八潮イブニング	三郷特別支援学校へ体育の授業で使用する、安全かつ清潔なスポンジマットを事故防止と教育支援を目的とし寄贈する。
草加中央	タイ王国の水害被災地に、氾濫した水の排水作業のためのポンプ車を寄贈。
八潮みらい	八潮市内の小学校 10 校に「八潮みらいロータリー文庫」を創立。文庫資金の寄贈。
草加松原	草加市内の生活介護施設「青柳太陽の家」に情緒安定及び、視聴覚を目的に 50 インチのテレビを寄贈。
吉川	吉川市美南中央公園グラウンドで近隣地域のサッカーチームと交流・友情を深める為、「吉川 RC 杯」としてサッカー大会主催及びサッカーゴールの寄贈。
三郷	三郷市の認可外保育園施設 2 箇所に外出用ベビーカーや教育用玩具一式を寄贈。
三郷ウエンスデー	三郷市特別支援学校に学校行事及び授業で使用するワンタッチテント・スポンジマットを寄贈する。
松伏	松伏町民まつりにおいて、「かるがもセンター」の活動を周知させ、心身障害者の実態や活動状況を周知し、地域の理解と協力支援を深める活動をする。
川口	夏の昼に川口市銀座通りなどで、地球温暖化への啓発として時間を決めて一斉に打ち水を行う。
鳩ヶ谷	旧鳩ヶ谷地域のお祭りにチャリティーバザーを出店し、ポリオ撲滅運動の支援、広報活動をする。
川口東	地域小学生にバスケットボールを通じ、心身を鍛錬し、社会の道德心を養うために、戸塚スポーツセンターにて「ミニバスケットボール大会」を開催する。
川口・鳩ヶ谷武南	川口の知的障害者授産施設「ほっとすてーしょん」にて利用者と地域住民との交流として、クリスマス会を行い健常者と障害者と交流する。
川口モーニング	タイ国の公立小学校に基本的教育と識字率向上の為知的貢献機材を提供。
川口南	川口特別支援学校を訪問し、サンタがプレゼントを、会員が音楽パフォーマンスを披露し知的障害のある児童、生徒に感動を提供する。
川口シティ鳩ヶ谷	交換留学生を積極的に受け入れている川口市立川口高等学校に学力向上の為の問題集を寄贈する。
埼玉ゆず	「いわつき乳児院」に乳幼児の成長と健全な発達に必要な備品の支援。
戸田	道満パークのロータリー花壇で保育園児に花植を体験させ自然と親しんでもらう。
蕨	宮崎県塩竈市立浦戸中学校に太鼓、ハッピーを寄贈し、復興支援をする。
川口西	川口市リリア広場にて献血会を行い、埼玉県赤十字血液センターに寄与する。
戸田西	上戸田福祉センターへロータリーエンブレムのついた、講演台セットを寄贈する。
川口北	川口市上谷沼運動公園で知的障害者の方々と花見や、バーベキューをし、記念品を贈呈する。
川口北東	幼稚園の園児に白布に手作り鯉を製作させ、川口市立グリーンセンターに市販の鯉と手作りの鯉を掲揚する。
川口中央	川口市高齢者総合福祉センター「サンテピア」に不足している車椅子を寄贈する
戸田イブニング	戸田市内の少年少女へのサッカーに準ずる用具などを寄付する。

地区大会のご案内

大会実行委員長 鴨田 博司

2015～16 年度 R I 第 2770 地区大会は、下記の内容で 11 月 14 日(土)・15 日(日)の 2 日間開催致します。

2 日目の 15 日午後 3 時から、さいたま市文化センターに於いて、入場料無料で一般の方にもご参加いただき「認知症フォーラム」超高齢化社会を迎えて～認知症は予防できるのか?～を開催致します。

認知症の人は現在約 400 万人、潜在的な患者も入ると 700 万人とも言われています。認知症を予防し、早期発見して進行を遅らせるなど、認知症に対して正しく知識を持ってもらい、理解者を増やすことが、認知症高齢者に優しい環境づくりのお役に立てるのではないかと企画致しました。

多くのロータリアンご家族の皆様のご来場をお願い致します。

2015-16 年度 R P I C 目標

ラビンドラン R I 会長が、ロータリー公共イメージコーディネーター（R P I C）に対して、2015-16 年度の目標を提示されました。

我々も、それを実現すべくゾーン毎に（日本は第1ゾーン・第2ゾーン・第3ゾーン）各地区とコミュニケーションを十分にとって公共イメージの向上に努力したいと思います。以下にその目標の概要を記します。

＜目的＞

R P I C は、クラブと地区に対し、情報や広報、マーケティングにおける高度な支援を提供し、さらに地区やクラブのロータリアンが地域の方々にロータリーのストーリーを伝えるための研修を支援します。ロータリーのストーリーを最も効果的に伝えるのは、クラブが実施しているボランティア活動です。R P I C の活動はその広報に重点を置く必要があります。

＜R P I C の優先事項＞

- ・地元メディアによる報道の推進
- ・ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進
- ・デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

地元メディアによる報道の推進

以下の項目に関する個別の報道を実現する

- ・奉仕プロジェクト
- ・地元クラブによる恩恵を受けた人々や団体の紹介
- ・地元での行事／募金活動
- ・ポリオ撲滅又は6つの重点分野
- ・交流／ネットワークづくりの機会

ビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進

- ・6割のクラブが、ウェブサイトやソーシャルメディア、出版物（パンフ・推進資料等）において、ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスを導入するようにする。
- ・地区レベルで実際に導入しているクラブを紹介し、他クラブを啓蒙する。

デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

- ・「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドを活用し、ソーシャルメディア研修キットを配布し、その活用を奨励する。

※上記のR P I C 目標を実現するために、我々R P I C は各地区には様々な協力をお願いしてまいりますので、宜しくお願い致します。

文庫通信（334号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献（2）

- ◎「私のロータリー」 森三郎 1992 198p
- ◎「日常語で、ロータリー」 森三郎 1995 20p
- ◎『「今」ロータリーが忘れていた事』関西ロータリー研究会第55回例会記録 森三郎：講師 1999 112p
- ◎「アイウエオ!!ーロータリーの心と人生のイロハ」 小林 博 [2002] [4p]

◎「ロータリーとは何か（ロータリー入門）」 松崎勝一 2005 11p

◎「ロータリーの歴史〈75年の歩みを振り返る〉」 梶原景親 福岡西 R.C. 1980 53p

◎「ロータリーの奉仕哲学」 梶原景親 福岡西 R.C. 1983 40p

◎「ロータリー讀本」 梶原景親 福岡西 R.C. 1984 143p

◎「ロータリアンの特典と義務について 改訂版」 麻植晃 徳島南 R.C. 1998 18p

◎「会員増強について考える」 鳴海淳郎 [2000] 8p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日